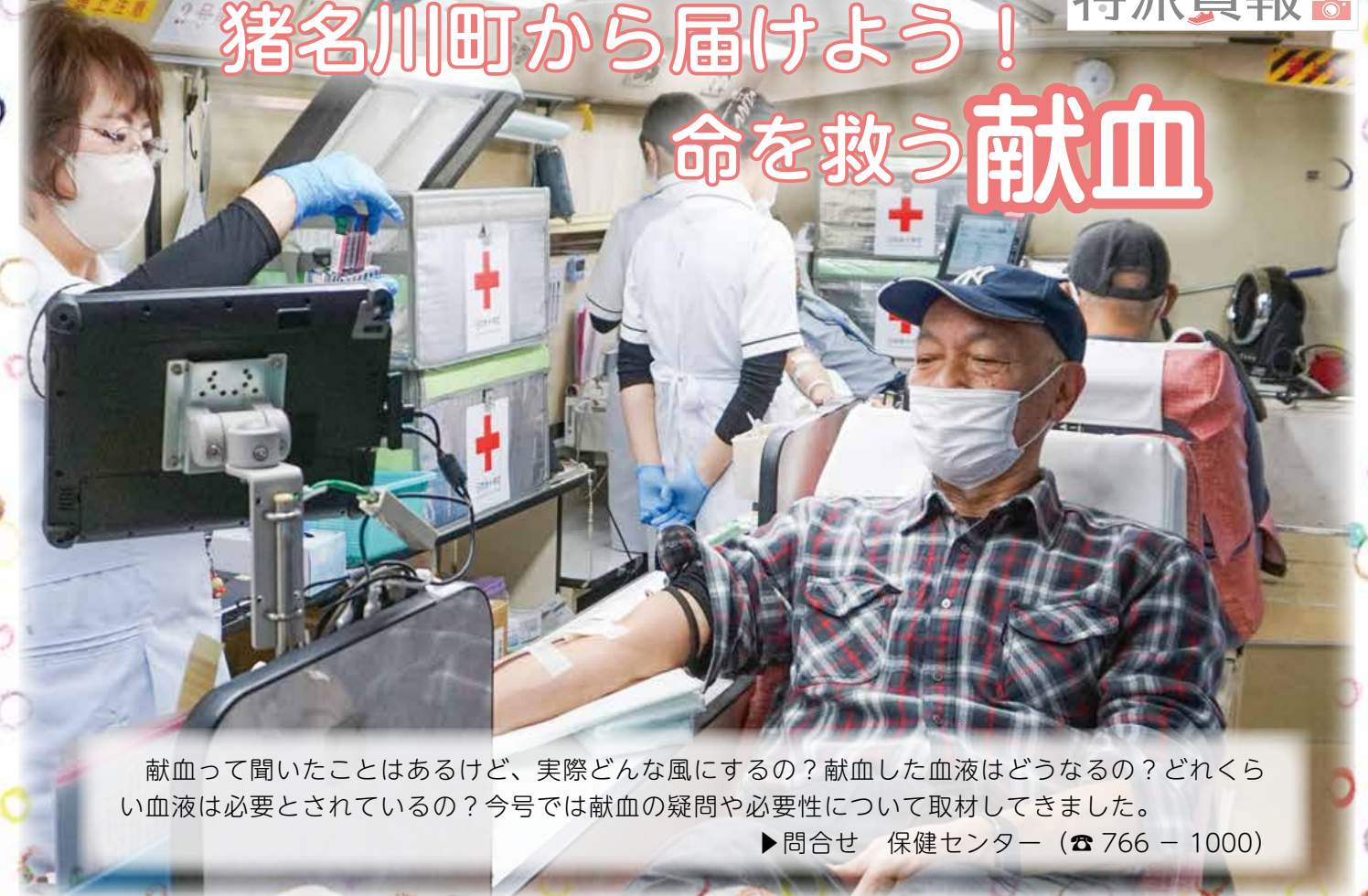


猪名川町から届けよう！ 命を救う献血



献血って聞いたことはあるけど、実際どんな風にするの？献血した血液はどうなるの？どれくらい血液は必要とされているの？今号では献血の疑問や必要性について取材してきました。

▶問合せ 保健センター（☎ 766 - 1000）

Q 献血とは？

A 医療技術が進歩した現在でも血液は人工的に造ることができません。そのため、輸血を必要としている人にとって献血は命を救うものです。輸血が必要とされる場所は主に医療機関です。癌や白血病の患者さんなど、献血によって集められた血液から作られる血液製剤を必要としている方がたくさんいます。治療や手術など1回に必要な輸血量は数リットルにおよぶこともあるため、毎日全国の献血ルームや献血バスなどで献血へのご協力を募っています。猪名川町でも年5回ほど、献血バスによる献血にご協力を頂いています。



県赤十字血液センター
池田 恵理子さん

Q 献血した血液はどうなるの？

A 献血で集まった血液は、神戸市にある兵庫製造所へ届けられ、血液検査や成分分離などを経て血液製剤になります。その後、県内の各病院や近隣他府県へ送られます。血液製剤の有効期間は最短で血小板製剤が採血後4日間と短く、日々、献血へのご協力が必要としています。

Q 誰でも献血できるの？

A 献血バスによる献血では機材車載や輸血される患者さんの副作用軽減の観点から400mlの全血献血をお願いしており、基準をクリアしていれば、献血に参加いただけます。献血は40～60代の協力者が多く、町内でも30代以下の献血者数は20%程です。献血は卒業年齢があることから、今後の献血者数を確保するためにも若年層からもご協力を頂き、献血の輪を広げていただけたら嬉しいです。

献血の必要数

1人の献血者から採血できる血液	最大 400ml
必要献血者数（年間）	500 万人分
全国での必要献血者数（1日）	14,000 人分
献血バス1台あたりの目標献血者数	50 人

献血前の確認事項

①基本基準※ 400ml献血の場合

男性	女性
体重 50kg以上	体重 50kg以上
17～69 歳の人	18～69 歳の人
※ 65 歳以上の方は、60～64 歳の間に採血歴のある人	
年 3 回まで	年 2 回まで

②献血当日の聞き取りや測定

- ・服用している薬
- ・渡航歴の有無
- ・当日の血圧
- ・血液内のヘモグロビン量

献血の流れ

- ① 受付・本人確認・体重測定
(初回のみ本人確認書類の提示、2 回目以降は暗証番号か生体認証で本人確認)
↓
- ② タブレット端末上で問診
(献血アプリで事前問診も可能)
↓
- ③ 医師による問診、血圧測定、脈拍測定、体温測定
↓
- ④ 看護師による血液検査、ヘモグロビン濃度の測定
(初回は血液型検査も有り)
↓
- ⑤ 採血 10～15 分
↓
- ⑥ 水分補給（休憩）

※所要時間約 40 分、採血にかかる時間などにより前後有り

島田 千晶さん

誰かの役に立てているというところが大きい。ついでに健康管理もできる。アプリで予約できるので、前後の予定もいれやすくして良い。受付もスムーズでした。



後藤 広之さん

48 回目の献血、勤め先に献血バスが来ていたのをきっかけに数十年ほど、定期的にきている。スケジュールはラブラット★から LINE が来るのでチェックしています。



▼献血バス



編集後記

今回の取材では、継続して献血されている人は、「初めての献血は20代だった」とおっしゃる人が多かったです。「献血アプリ ラブラット」が導入されて若い世代の人も献血に参加しやすくなっています。「支えあい」の精神で、猪名川町からも未来に献血の輪を広げたいですね。



中津 めぐみ



福田 愛

★「ラブラット」とは、献血記録の確認や献血の Web 予約が可能で、ポイントもたまる、献血カードのアプリです。

詳細はこちら▶



次回献血予定

とき 5 月 7 日（水）
ところ 猪名川町役場

